

## 競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2025年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。  
本事業の実施により、循環式浴槽から新湯タイプの浴槽に変更を行うことで、利用者様の満足度の向上  
職員の業務負担軽減を図ることが出来ました。

事業名	2025年度福祉機器の整備
事業の内容	特殊浴槽入替（酒井医療機器株式会社 カトリア導入）
補助金額	3,783,000円
実施場所	宮崎県国富町大字岩知野 355 （サンフローラみやざき）
完了年月日	2026年1月27日



2025年 J K A 補助事業（福祉機器整備）

# 介護用入浴機器「カトレア」 導入評価報告書

利用者満足度と職員運用負荷の相関分析

アンケート対象 職員・利用者  
実施期間2月1日～5日



## 利用者の評価（メリット）：生活リズムへの好影響



### 1. 睡眠の質の向上

**「お風呂の日は熟睡出来て夜のトイレに起きるのが減った」**

深部体温の上昇により、入浴後も効果が持続している。



### 2. 本来の入浴感

**「足を伸ばせるので気持ちよくなった」**  
**「泡で体を洗われている感じがする」**

窮屈な姿勢からの解放と、気泡浴によるリラックス効果。

# 利用者の評価（課題）：体格・拘縮への適合性

## 1. 膝の伸展と水位の問題



「膝が伸びないので少しお湯が足りなかった」「膝が曲がりにくいのでそこだけお湯から出てしまう」

拘縮のある利用者や、特定の体格の利用者に対しては、標準の水位設定では不十分なケースがある。

## 2. 温度感覚の個人差



「お湯がぬるかった」「お湯が熱かった」

機器の自動設定に頼りきらず、個別の微調整（たし湯機能の活用）が必要。

## 職員の評価（メリット）：ケア品質の可視化と衛生管理



### 利用者の変化

「利用者の笑顔が増えた」  
「肌の感じが良くなった」

以前はお湯に浸かれなかった重度の利用者も入浴可能になり、満足度が表情に表れている。



### 業務負担の軽減（衛生面）

「タンク清掃をしなくてよくなった」  
「お湯が清潔なので良い」

100%新湯方式により、感染症リスクの低減と清掃業務の簡素化が実現。

# 職員の評価（課題）：入浴時間の延長と操作習熟



## 1. 時間管理の難しさ

“ 「希望者が増えて時間がかかるようになった」  
「入浴の終わりの時間が伸びている」



### Root Cause List

1. 利用者が長湯を希望する（快適性向上による）。
2. 丁寧な調整が必要（お湯の量や温度の調整がこまめに必要）。



## 2. 手順の複雑化

“ 「空気抜きの作業が面倒」  
「操作や工程が増えた」



### Insight

シンプル操作（スイッチ一つ）とはいえ、準備段階でのエア抜きなど、付帯作業への慣れが必要。

# 総合評価マトリクス

## 良い点

## 課題

利用者

- ・ 熟睡・安眠効果
- ・ リラックス
- ・ 泡浴の心地よさ

- ・ 膝拘縮時の水位不足
- ・ 温度調整のバラつき

職員

- ・ 衛生管理（新湯）
- ・ タンク清掃ゼロ
- ・ 利用者の笑顔

- ・ 時間延長
- ・ 椅子の重さ・洗身アクセス
- ・ 空気抜きの手間

# 感想から見えてくる「導入効果」まとめ

## ① 利用者の入浴満足度と生活への影響

「ゆっくり温まれる」「足を伸ばせて気持ちいい」「泡が心地よい」など、入浴の快適さが高く評価されている。仰向け姿勢で楽に入れる点も安心感につながり、熟睡できた、夜間トイレが減ったという声もあり、生活面への良い影響がうかがえる。

## ② スタッフ視点での効果と現場の変化

利用者の笑顔が増え、気持ちよさそうに入浴する様子が見られるなど、満足度の向上を実感している。お湯の清潔さやタンク清掃不要など衛生面の改善も評価され、時間表示により入浴時間を伝えやすくなった点も現場では好意的に受け止められている。

## ③ 使用を通して見えてきた課題

体格や膝の可動域によってはお湯が十分にかからず、不安を感じる利用者もいる。温度や湯量調整の手間、希望者増による時間延長、シャワーチェアでの洗身のしにくさなど、運用面での工夫や整理が今後の課題である。